

豊かな心 健やかな体	あ た た か い 集 団 づ く り	「人とつながる優しい北っ子を育てる」 ・「優しい言葉遣い・優しい行動・ほめる活動」を増やす。 ※いじめ予防・防止の視点を含む	●「やさしさみつけ月間」を学期に1回行い、啓発運動・促進を図る。 （1年間掲示して、目に見える形として残す） ・児童会役員の放送などを通して、やさしさみつけのメッセージの内容の質の向上を図る。 （行動に対しての思いや感情を表現する） ・他クラスのやさしさの木をみにいく時間の設定。	・児童の様子を見取り ・児童会アンケートの実施 「やさしさをみつけることができたか」	状態について協議 児童会アンケート	年度末	○	やさしさみつけ月間を行うことによって、児童は他の児童のやさしさに目を向けている様子がみえる。 児童会役員の放送などを通して、やさしさみつけのメッセージの内容の質の向上を図っている。			
		・人との関わり・交流機会を設定する。	・北っ子活動・ペア学年交流など、学年をこえたたてわり活動を多く実践し、全校児童の関わりの機会を増やす。	・児童の様子を見取り ・児童会アンケートの実施 「児童会目標を達成できたか」 「他学年とつながることができたか」 「活動の達成感」「活動への所属感」 肯定的意見が9割以上	状態について協議 児童会アンケート	年度末	○	北っ子活動では、大縄大会を実施し、それに伴い休み時間にも練習を行うなど昨年度より学年をこえた活動が増えている。また、他学年との交流活動も各学年で年間を見通して計画的に行っている。			
		・子ども主体の活動を促進する。	・委員会での常時活動を実施し、5、6年生が学校運営の役割を担い、自立できる活動を増やす。	・委員会活動での児童の日々の様子	状態について協議	年度末	○	今まで常時活動の少なかった委員会も、常時活動を行い、学校運営に携わっている。また、学校の実情に合わせた委員会が発足したことで、子どもたち自身で学校のために主体的に活動する姿がみえる。			
	心 身 の 健 康 の 促 進	・運動を楽しむことができる児童を育てる。 ・心身の健やかな成長を促進する。	●楽しい体育授業の実施のために、各領域について、主運動につながる運動資料を作成し楽しい体育授業をめざす。 ・多様な運動に触れ合う機会の増加のために、体力向上週間や教員の積極的な活用に取り組む。	・体力テスト ・児童の日々の様子 ・生活アンケート 肯定的意見の増加	体力テストの記録比較 状態について協議	年度末	○	体育委員会を中心に、鉄棒ビンゴやおにごっこなどを通して、他学年との交流を積極的に取り入れることができた。 体育授業に取り組むうえで、体育館側面に掲示物を準備し、いつでも活用できるようにしている。 体育のアンケート、もしくはスポーツテストの結果から、児童の体育や運動への意識、体力向上のデータをみとる予定。			
			・栄養教諭による食育・栄養指導をおこなう。 ・「家での7つの約束」の再啓発による規律ある生活習慣の確立をめざす。	・児童の日常の様子 ・病院搬送件数の確認 ・生活アンケートの実施	状態について協議 病院搬送件数の前年度比較 生活アンケートの比較	年度末	○	・栄養教諭による食育の指導については、食育の年間計画に沿って、「家での7つの約束」との関連をふまえて、実行することが出来ている。 ・生活アンケートについては、今年度は1学期に実施し、児童の実態把握に活用することができた。			
子ども理解	特別支援	・個に応じた支援体制づくりを行う。	・通常の学級、通級指導教室、支援学級が連携した組織的な指導体制の充実をはかる。	・指導体制の連携確認	状態についての協議	年度末	○	担当者間で必要に応じて、連絡・相談の機会を設けている。また児童や保護者への対応も複数の職員で対応するように努めている。			
			・子ども相談委員会（校内委員会）を開催し、通常の学級や通級指導教室、支援学級、家庭での支援方針や支援方法、役割分担について、検討を行う。	・児童に対しての効果的な支援	状態についての協議	年度末	○	全職員が集まる機会に、子ども相談委員会を行い、支援を要する児童を中心に共通理解を図っている。教育相談が17件あり、どのような支援が必要なのか検討しながら進めている。			

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）